

2024年4月20日

JMoF 実行委員会



JMoF 2024 における緊急対応について

JMoF 実行委員会（以下、当会）は、先日開催した JMoF 2024 にて、警察署への通報および警察官による会場内巡回の実施、当会スタッフによる手荷物検査の実施およびパフォーマンスステージなどの企画内容の変更といった緊急対応を行いました。

経緯と経過

2024年1月6日（土）：

JMoF 2024 の会期中（2日目）、当会の公式 X（旧 Twitter）アカウントおよび JMoF 2024 参加者の個人 X アカウントに対し、同 SNS 上で、会場であるロワジールホテル豊橋への爆破予告および一部の参加者への殺害予告を示唆する投稿があると当会スタッフより大会運営本部に報告されました。また、それと同様の内容を投稿した、なりすましと考えられる複数の別のアカウントがあることも確認しました。

当会は上記の事態を重く受け止め、ただちにロワジールホテル豊橋に情報を共有して協議したうえで、豊橋警察署に本件を通報しました。以降、豊橋警察署による会場の確認および事情聴取が行われたほか、警察官による会場内巡回が実施されました。

2日目のプログラムの終了後、当会は緊急対応のできる全スタッフを招集して、翌日（3日目）の開催についての会議を開き、対応を協議しました。結果、豊橋警察署の指示に基づいた警備体制の強化（警備スタッフの増員、参加者の把握、手荷物検査の実施）、一部の企画の規模縮小、パフォーマンスステージの一部の演目および閉会式で上演する動画の内容を変更したうえで、開催を継続する判断をいたしました。

2024年1月7日（日）：

上記の緊急対応を実施したうえで、3日目のプログラムを進行しました。豊橋警察署の意向により、警察官による会場内巡回も引き続き実施されました。結果、予告されていた行為や不審者／不審物は報告されませんでした。

2024年2月9日（金）：

本件について、当会は、当会および当会スタッフに係る被害や損失の状況を精査したうえで、豊橋警察署に被害届を提出しました。

2024年3月21日（木）：

本件について、当会は豊橋警察署より、被疑者が検挙された旨の報告を受けました。

当会代表よりコメント

JMoF というファミリーコンベンションは、ロワジールホテル豊橋さまにおいて 2014 年より開催を重ね、長い時間をかけて同ホテル関係者の皆さまとの信頼関係を築いてまいりました。JMoF 実行委員会メンバーや協力者、そして参加者の皆さまの不断の努力によって JMoF は支えられ、私たちはこの年に一度の、仲間たちと集い語り合う大切な居場所を持ち続けることができたのです。軽率な行動によって引き起こされた今回の事態は、この信頼関係を一瞬にして崩しかねないものでした。

これまで、世界各地で数多くのファミリーコンベンションが開催されてきましたが、その中には開催の継続が望めども叶わなかったコンベンションがたくさんあります。その原因の一つとして、同じ仲間であるはずの人が起こした事案によって、開催地や関係者との信頼関係を失い、居場所をなくしてしまったことがよく挙げられます。

私たちが当たり前のように享受しているこの多彩な表現や個性を共有できる環境は、実はとても繊細で不安定なものであって、信頼関係を築き上げ維持するための絶え間ない努力があつてはじめて成り立っています。当人からしたら「ちょっとした」ことかもしれないその悪意や幼稚な考え、たった一つの愚かな行動によって大変なことが起きてしまうのです。だからこそいま一度、ファミリーコンベンションに関わる参加者も含めたすべての人に、ファミリーファンダムに関わる人としての立ち居振る舞いを考えてもらいたいと思っています。

私たち JMoF 実行委員会はファミリーコンベンションを運営する団体ですので、当然ファミリーやファミリーファンの皆さまを信頼しています。しかしながら今回の教訓はしっかりと胸に刻み、次回以降の運営に活かしていく所存です。

このたびは JMoF 2024 会期中において、皆さまには多大なるご不便とご心配をおかけしました。このような突然の対応にもかかわらずご協力いただいた参加者の皆さま、ロワジールホテル豊橋スタッフの皆さま、豊橋警察署関係者の皆さまに、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

今後も皆さまが安心して楽しめるファミリーコンベンションを運営できるよう全力を注いでまいりますので、何とぞよろしく願いいたします。

以上

JMoF 実行委員会

代表 さとみ

